



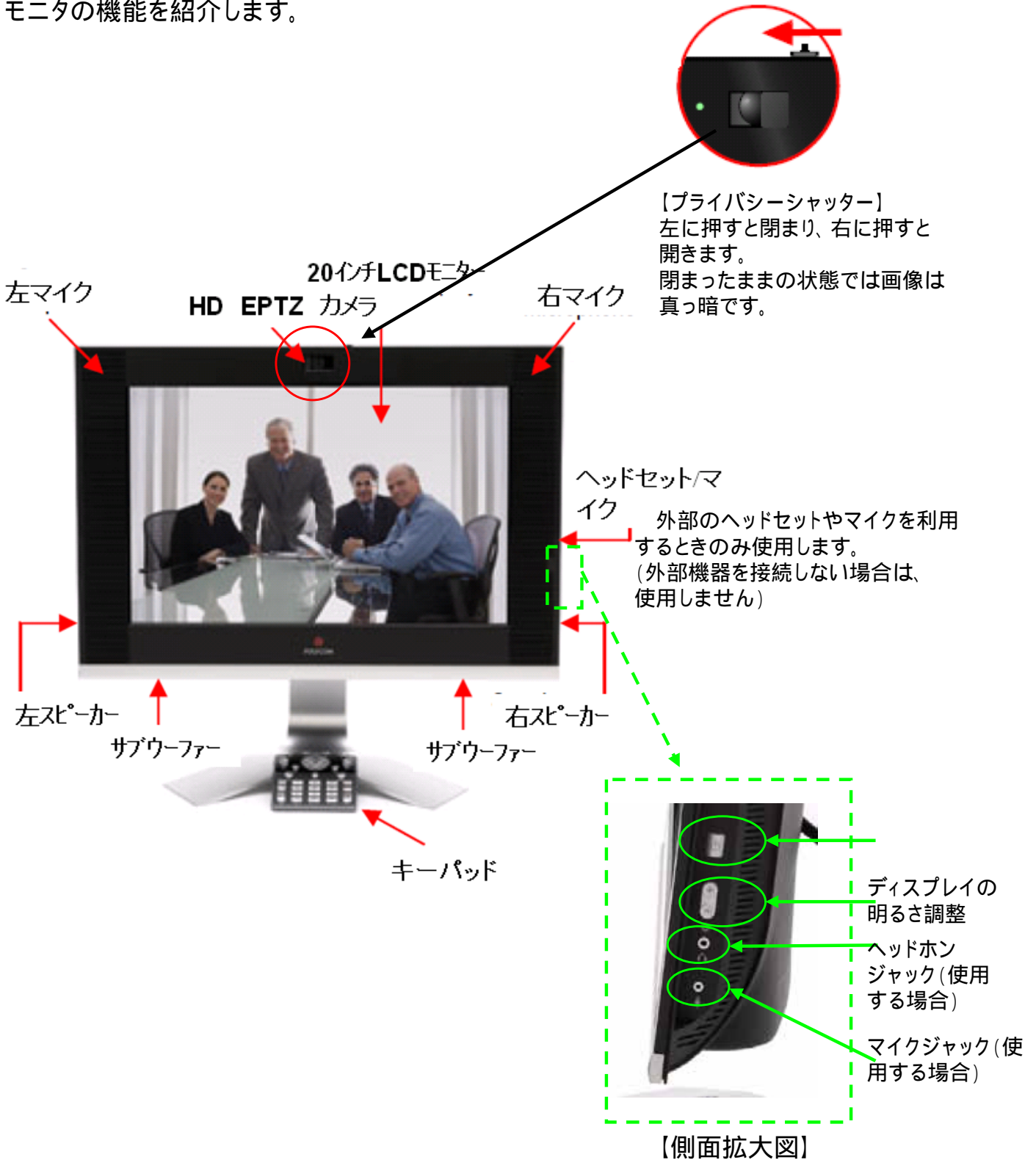
HD X 4000 操作説明書





HDX4000シリーズのモニタについて

HDX4000はモニタ付属モデルです。
モニタの機能を紹介します。





キーボードの使い方

HDX4000では通話の発信や相手側カメラのズームなど、会議に必要な操作をすべてこのキーパッドから行います。

【PC画面表示】

接続しているPCのコンテンツを表示させます。
自分の画面に表示させるボタンです。相手に送信はできません。

【PC画面送信】

接続しているPCのコンテンツを送信します。

【Display】

PIP(子画面)の移動・表示・消去します。

【Info】

通信中に、通話状況の確認ができます。

【Zoom】

カメラの画像をズームイン/アウトします。
上がズームイン/下がズームアウトです。

【カメラ選択・コントロール】

通信中のカメラコントロールを行います。
上が相手側/下が自分側です。

【上下左右】

カメラ方向を操作したり、
キーパッドを操作したりします。

【決定】

選択した項目を決定します。

【Back ()】

キーパッド操作を1つ前に戻します。

【Home】

「起動」画面に戻ります。

【Callボタン】

ビデオ会議通話を開始します。

【ディレクトリ】

電話帳を開きます。

【Keyboard】

テキスト入力のためのキーボードを
表示します。

【Hung-upボタン】

コールを切断します。

【Option】

オプション機能を起動させる際に
使用します。

【Volume】

相手側から聞こえる音量を増減します。
上(+)が大、下(-)が小です。

【Delite ()】

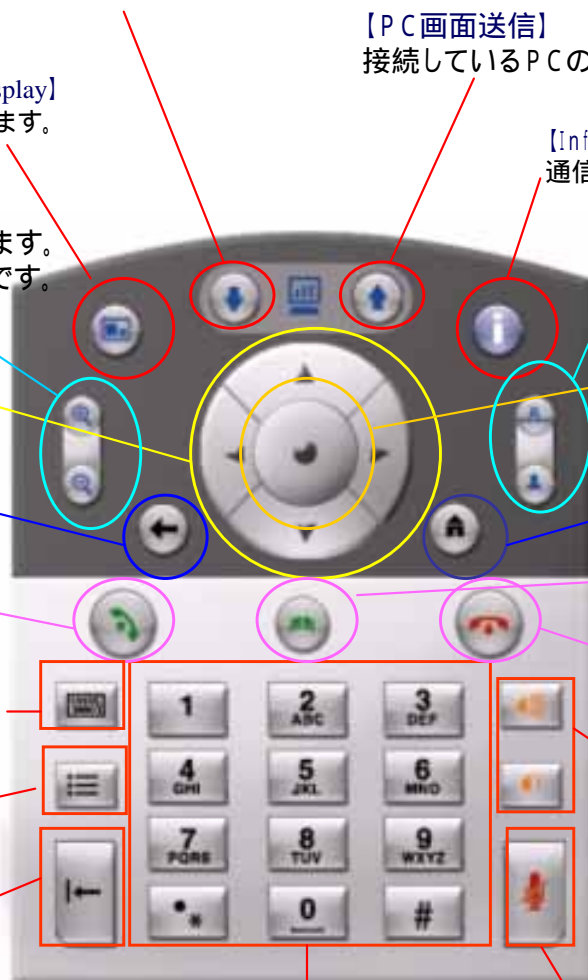
文字・数字を消去します。

【数字キー】

数字または文字の入力、プリセット等
で使用します。

【Mute】

相手側に送る音声をカットします。





システムの起動

・HDX本体とテレビモニタの電源を入れます。
HDX4000では本体前面(中央)・もしくはディスプレイ側面の電源スイッチを押すと電源が入ります。



注意:本体はこちらです

【HDX4000 本体前面】
ランプが青く点灯したら
電源ONの状態になって
います



・電源を入れると、右のような画面が現れます。
この画面の状態ですら20～30秒ほど停止します。
途中で起動音が鳴ります。



・Ready状態。いつでもコールできます。
電源を入れると右の画面が立ち上がります。



【HDX HOME画面】



コールの開始

HDX4000ではシステムの設定によって 3つの方法からコールをすることができます。
IPモデルはIP接続のみ、IP/QBRIモデルはIP/ISDN通話が可能です。

1.相手先の通信番号を直接入力してコールする

キーパッドの数字キーパッドを使用して 通信先のIPアドレス、もしくはISDN番号を入力します。

例 IP :192.168.1.1 (IPアドレスの「.」は数字キーパッド左下の「.」ボタンか右矢印キーを使用します)

ISDN:0352556999 (「-」は必要ありません)

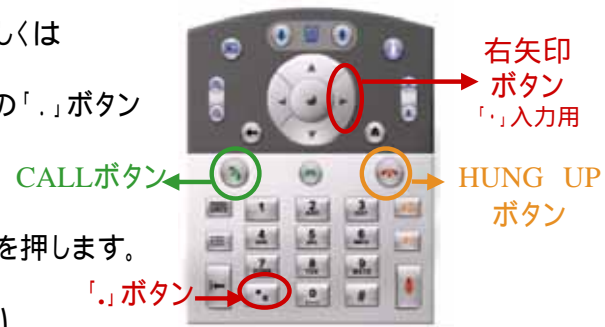
キーパッドの矢印を使用して通話品質を反転させ、「実行」ボタンを押します。

通信速度 :キーパッドの矢印ボタンで速度を選択し、使用したい通信速度の上で「実行」ボタンを押します。

ネットワーク :IPかISDNかを選択し、使用したいネットワークの上で「実行」ボタンを押します。

IPモデルの場合は「通信速度」のみ表示されます。

キーパッド中央左の「CALL」を押し、コールを開始します。



ここに相手側の番号を入力します

通話品質から速度・回線を選択します





2. ディレクトリ(電話帳)からコールをする

ディレクトリを選択します。

【方法1】キーパッドの「Directory」ボタンを押します。

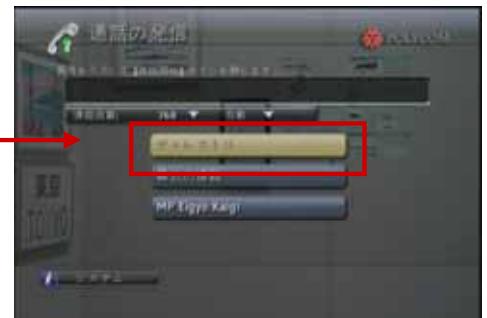
【方法1】



【方法2】リモコンの矢印ボタンを使用して画面の「ディレクトリ」を黄色く反転させた状態で実行ボタンを押します。

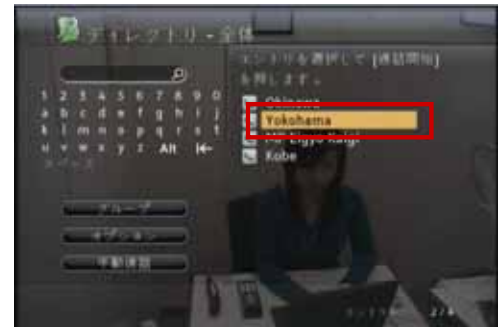
【方法2】

ディレクトリ



右のような画面が表示されます。

登録拠点一覧の中から 接続したい相手を選び、「CALL」ボタンを押します。



通話が始まります。

「CALL」ボタン

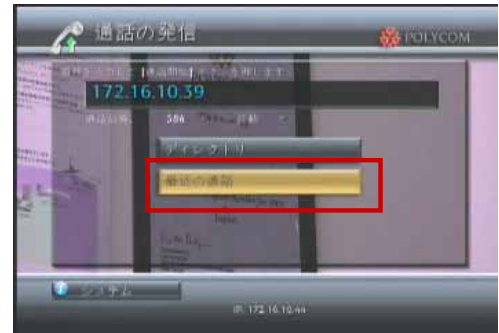




3. 「最近の通話」リストからコールする

システムの設定により、最近の通話先の一覧から通話する番号を選択できる場合があります。
「最近の通話」画面からコールするには次の手順で行います。

「最近の通話」を反転表示させ、キーパッドの
「実行」ボタンを押します。



最近の通話一覧の画面が表示されますので
通話先を選択して反転表示させます。

ディレクトリの中から 接続したい相手を選び、
「CALL」ボタンを押します。

通話が始まります。



画面左上の「手動通話」を選択すると手動通話の画面（「通話の発信」）の画面に移動し、
「ディレクトリ」を選択するとディレクトリが開きます。



コールが開始されます

画面左下にある灰色の通話インジケータは通話が掛けられている状態を示します。このインジケータが緑になり、相手の映像が映し出されれば接続完了です。接続が完了すると緑色のインジケータは消えます。

* IPは接続するまで1～2秒です。

ISDNは10秒ほどかかります。

* IPはどの速度で発信しても画面左下インジケータは1個です。

ISDNは128k発信なら2個、256kなら4個、384kなら6個、512kなら8個表示されます。



インジケータ

..... コールの終了

キーパッドの「HUNG UP」ボタンを押します。

コールを終了するにはキーパッドの「CALL/HUNG UP」ボタンを押します。1対1の通話の場合はこの操作で通話が終了します。



「HUNG UP」
ボタン



システムの終了

HDX4000本体の電源を切ります。

HDX4000が右の画面になっていることを確認します。



HDX本体前面のスイッチを2秒以上押します。

HDX本体前面のスイッチのランプが消えます。



本体前面の
電源スイッチ



注意

システムを停止させる際は下記の注意を必ず守ってください。
正しく停止させない場合、故障するおそれがあります。

- ・スイッチでシステムを終了する前に、電源ケーブルのプラグを抜かないでください。
- ・電源ケーブルのプラグを抜く場合は、HDX本体前面のランプが消えてから15秒以上空けてください。

システムが完全に停止するのは、HDX本体前面のLEDランプが消えてから15秒後です。
15秒以内にコンセントからプラグを抜くと、本体が故障する可能性があります。
他システムと電源を一括で管理している場合は、HDXのみ別手順で停止するか、
15秒以上あけて主電源をお切りください。



カメラ操作

カメラの操作方法はマニュアル(手動操作)と プリセットの方法があります。
会議の内容によりカメラ操作方法を変えていただくとスムーズな会議が可能になります。

マニュアル操作

手動でカメラを操作します。

上下/左右操作

キーパッド上部中央にある十字キーを使い上下左右のカメラ操作を行います。ボタンを押しつづけると動きつづけます。

ズームイン/アウト操作

キーパッド左側にあるZOOMボタンを使い
ズームイン/アウトのカメラ操作を行います。
ボタンを押しつづけるとカメラが動きつづけます。
+ (上)がズームイン(近づく)、- (下)がズームアウト(離れる)です

十字キー
('上下/左右'ボタン)

上:ズームイン
下:ズームアウト



HDXでは自分側 相手側ともにカメラの操作が可能です

現在どちらのカメラを操作できるか確認するには
キーパッドの「NEARボタン」「FARボタン」を
1度押してみます。

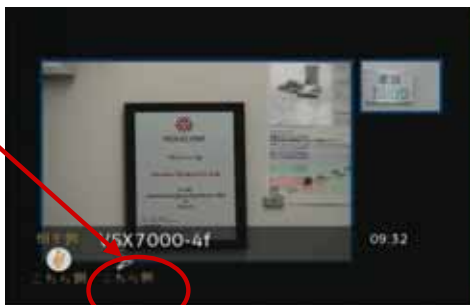
画面左上のカメラアイコンが「こちら側」になっていれば
自分側のカメラ操作が出来ます。
「FARボタン」を押すと カメラアイコンが「相手側」になり、
相手側のカメラ操作が出来ます
(通常、会議を開始した時は自分側の操作になっています)

上:FAR
(相手側)

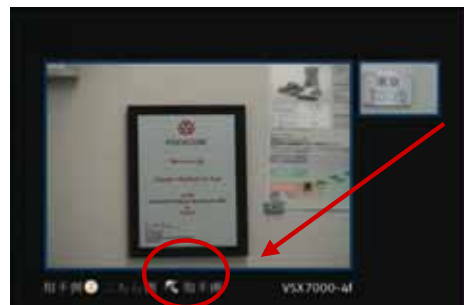
下:NEAR
(こちら側)



こちら側



相手側





音量調節

音量は付属のキーパッドで調整します。

「音量」ボタンで相手から聞こえてくる音声のボリュームを変えられます。
上 = ボリュームアップ・下 = ボリュームダウン です。

音声ミュート

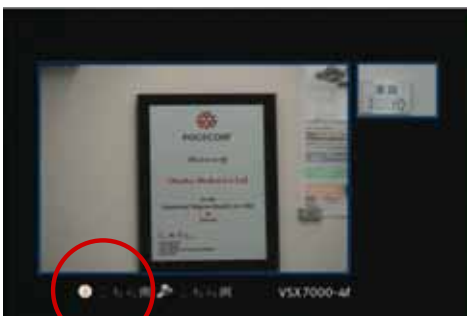
音声ミュートは自分側の音声を相手に伝えなくする機能です。
音声ミュートはキーパッド操作します。

キーパッド右下にある「MUTE」ボタンを押します。
もう一度押すと解除になります。

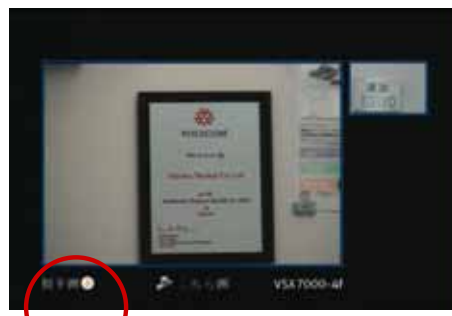


音声ミュートの確認

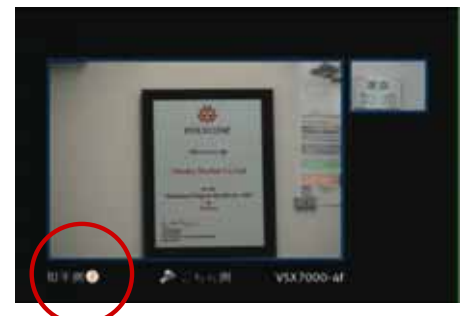
画面左下にマイクに斜線が入ったアイコンが表示されます。
こちら側、相手側と表示されますので、どちらがミュートしているのか
一目でわかります。
多地点会議を開催している時は「自分側」のみ表示されます。



こちら側のみミュート中



相手側のみミュート中



こちら側/相手側共ミュート中



ディレクトリ

ディレクトリを使用すると名前を選択してコールを開始することができ、電話番号を覚えたり調べたり、手動でダイヤルする必要がなくなります。

1. ディレクトリに新規エントリを追加する

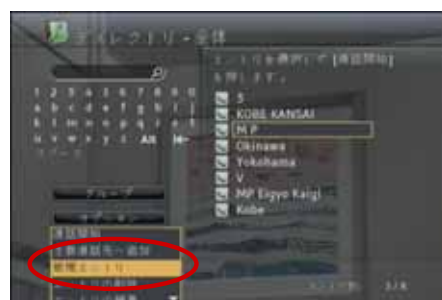
キーパッドの「Directory」ボタンを押します。

「Directory」ボタン



「新規」アイコンを反転させ、キーパッドの「実行」ボタンを押します。画面は次へ進みます。

画面左下の「オプション」から「新規エントリ」を選択します。



1地点エントリと多地点エントリの選択画面になりますので、「1地点」を選択します。



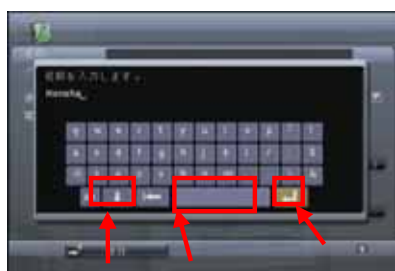
名前や電話番号(IPアドレス等)を入力し、通話速度の選択をします。

入力が終了したら、画面左下の「保存」ボタンを押します。

以上でディレクトリ登録完了です。



保存



大文字/小文字ス
切り替え
エンターキー
(選択の決定)

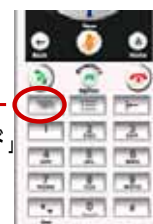
【名前の入力方法】

キーパッドの「キーボードボタン」を押します。

キーボードから文字を選択し、キーパッドの「実行」ボタンを押します。

入力が終了したらキーボード右下のエンターキーを押します。

「キーボード」
ボタン





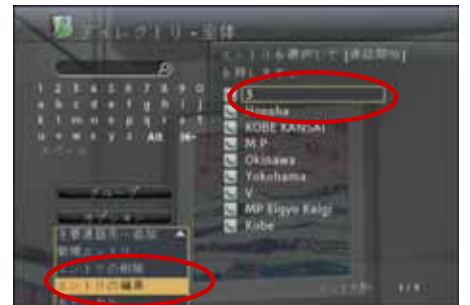
2. エントリを編集する

キーパッドの「Directory」ボタンを押します。

またはHOME画面から「ディレクトリ」を選択し、決定ボタンを押します。



キーパッドの矢印ボタンを使って編集をしたい通信先を黄色い枠で囲みます。
その状態で「エントリの編集」を選択します。



現在登録されている情報が表示されますので編集したい項目を選択し、変更します。

入力しましたら画面右方の「アップデート」を選択して決定ボタンを押し、変更内容に間違いがないか確認します。



間違いが無ければ「保存」を選択して決定ボタンを押します。

編集は完了です。キーパッドの「HOME」ボタンを押してHOME画面に戻ります。」

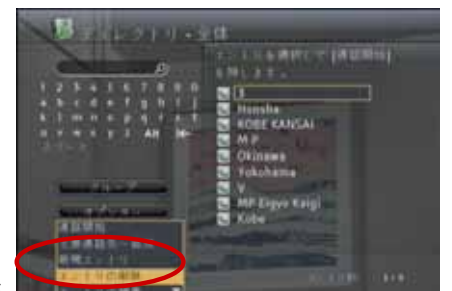
保存

3. エントリを削除する

キーパッドの「Directory」ボタンを押します。

キーパッドの矢印ボタンを使って削除したい通信先を黄色い枠で囲みます。

エントリの削除



左矢印で「削除」ボタンを反転表示させ、実行ボタンを押すと「削除してもよろしいですか?」ときかれます。

「はい」を選択するとディレクトリから削除されます。





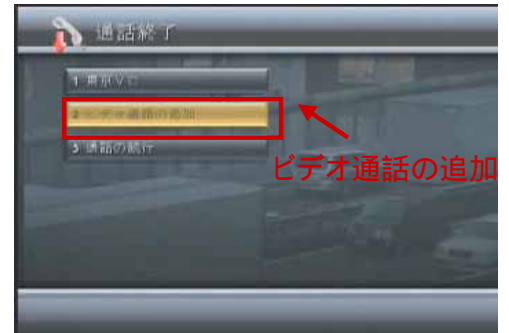
多地点通話

複数サイトによる多地点通話

オプションの内部MCU(多地点会議ユニット)を使用すると、時局を含め最大4拠点の会議を開催することが出来ます。

1. 1対1の通話に更に別拠点を加える場合

- 最初の拠点とTV会議を開始します。
- 接続されたらキーパッドの「CALL」ボタンを押します。
- すると右の画面が表示されます。
- 「テレビ通話の追加」を選択し、次のサイトに通話を発信します。
- すべての拠点が接続するまで を繰り返します。
- プロトコルの混在はできますが、速度の混在はできません。

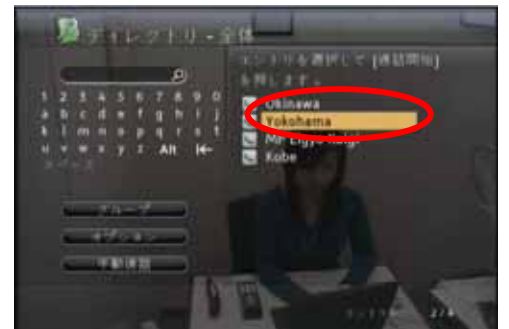


2. ディレクトリを使って多地点会議を行う場合

一度に全ての拠点を呼びだせるように、ディレクトリを登録しておくことができます

・ディレクトリから多地点会議を発信する

- キーパッドのディレクトリボタンを押します。
- キーパッドの数字ボタンでエントリ名を入力し、既に登録されたエントリに移動します。
- 「CALL」ボタンを押して発信します。
(1拠点接続の時と同じです)





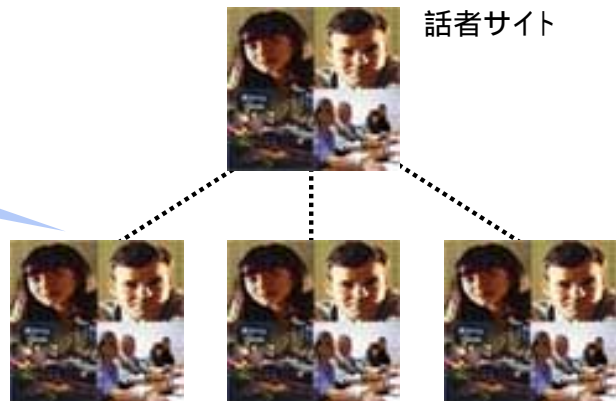
多地点通話

3. 画面モードを変更します。

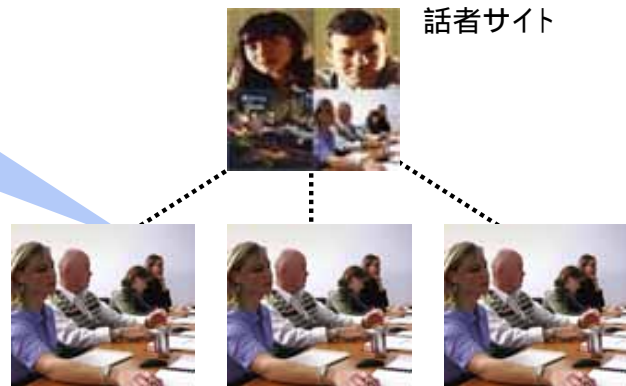
多地点通話で画面分割ができます。
画面モードはディスカッションモード、プレゼンテーションモード、フルスクリーンモード、自動モードの4種類あります。

画面モードの変更は通話中でも行えます。
TOP画面から「システム」「1.管理者設定」「3.モニタ」「3.多地点設定」の中の「多地点モード」を選択します。

【ディスカッションモード】
すべてのサイトが分割画面で表示されます。



【プレゼンテーションモード】
話者サイトでは、すべてのサイトを分割画面で表示します。
他のサイトは、話者をフル画面で表示します。



【フルスクリーンモード】
音声切り替えによるビデオスイッチングモード。
話者サイトを他の拠点にフル画面で表示します。
話者サイトには1つ前の話者のフル画面を表示します。

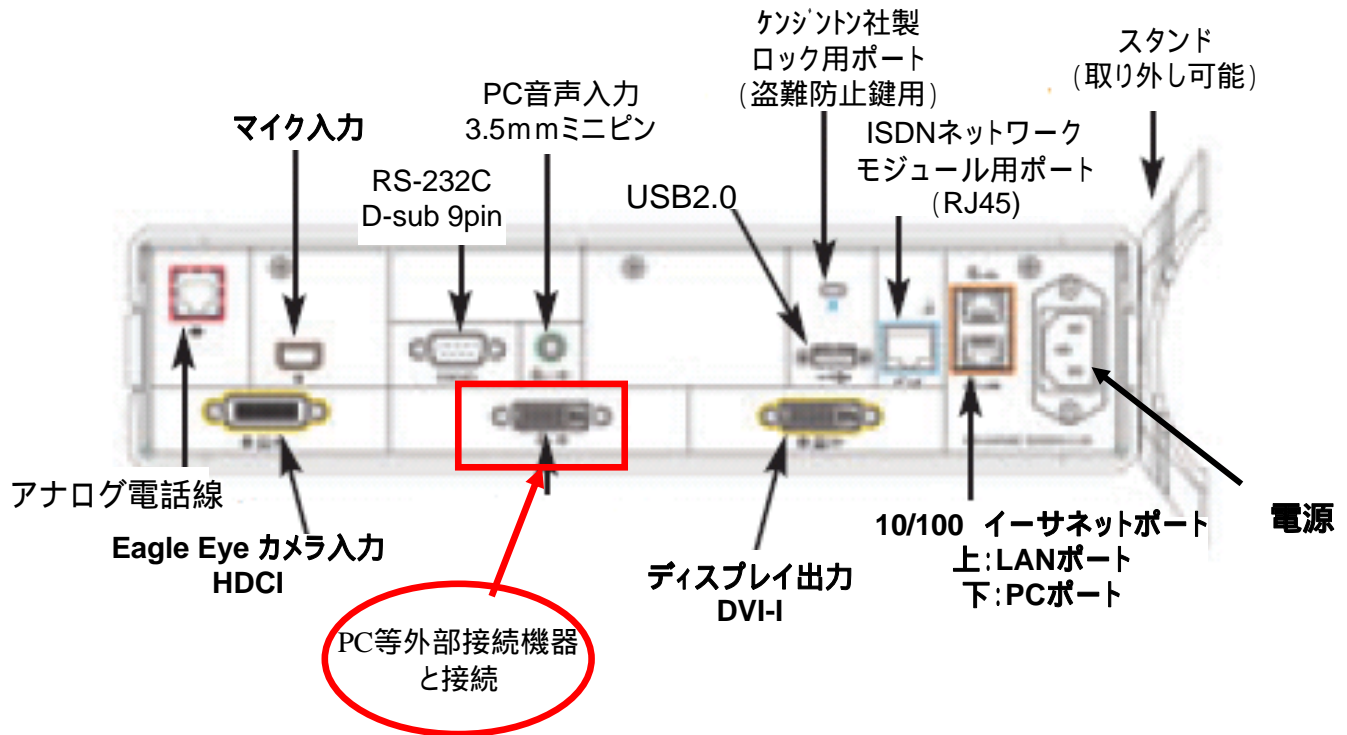


【自動モード】
プレゼンテーションモードとディスカッションモードを自動的に切り換えます。
話者サイトが一箇所の場合には、プレゼンテーションモードで動作しますが、
複数サイトが同時に発言した場合には、自動的にディスカッションモードに切り替わります。



コンテンツの送信

HDX4000では、PC等と本体を接続してコンテンツを送信することができます。



1. ケーブルを接続する

上図の赤で囲んだ接続ポートに、PCと接続するケーブルをつなぎます。
(主にDVI VGAのケーブル)

2. キーパッド操作で送信する

キーパッドのコンテンツ送信ボタン(上向き矢印)を押します。

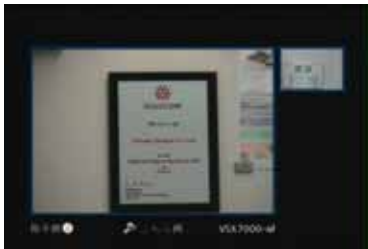




画面レイアウト

HDX4000では、画面の表示はデュアルモニタエミュレーションモードのみとなります。デュアルモニタエミュレーションモードでは、こちら側・相手側・コンテンツなどの各画像がそれぞれ独立した枠の中に表示されます。

< 通常の通信時 >



【相手:自分 9:1】



【相手:自分 9:1】



【相手のみ】



【自分のみ】

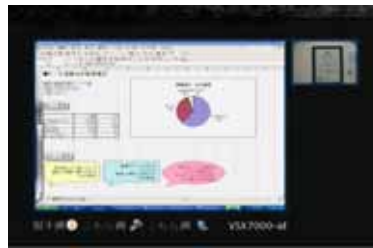


【相手:自分 5:5】

< コンテンツ送信時 >



【コンテンツ+相手+自分】



【コンテンツ+相手 9:1】



【コンテンツ+相手 5:5】



【コンテンツのみ】

レイアウトは、キーパッドのディスプレイボタンを押すと左の図の順番に変わります。

